

安全データシート

製品名 臭素スクラバ用塩化銀

作成日 2014 年 10 月 28 日

改訂日 2015 年 11 月 28 日

1 化学名及び会社情報

化学品の名称	臭素スクラバ用塩化銀
会社名	京都電子工業株式会社
住所	京都市南区吉祥院新田二の段町 68
担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4121
FAX 番号	075-691-4127
緊急時の電話番号	075-691-4125
整理番号	GHS-0116

2 危険有害性の要約

GHS 分類

健康に対する有害性	眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性	区分 2B
	標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分 3(気道刺激性)
	標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分 1(肺)

上記で記載がない危険有害性は分類対象外または分類できない。

ラベル要素

絵表示又はシンボル



注意喚起語 危険有害性情報

危険
眼刺激
呼吸器への刺激のおそれ
長期にわたる、または反復暴露による肺の障害

注意書き

安全対策

取り扱い後は手をよく洗うこと。
屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。
粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。
この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。

応急措置

眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合は、意思の診断／手当てを受けること。
吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪い時は、医師の診断／手当てを受けること。

保管 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
 施錠して保管すること。
 廃棄 法令に従って廃棄すること。

3 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区分 混合物
 化学名(一般名) 塩化銀、酸化アルミニウム

臭素スクラバ用塩化銀 67.5g 入

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
塩化銀	50g	AgCl	化審法 (1)-4	7783-90-6
酸化アルミニウム	17.5g	Al ₂ O ₃	化審法 (1)-23	1344-28-1

臭素スクラバ用塩化銀 13.5g 入

成分名	含有量	化学式(構造式)	官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	CAS No.
塩化銀	10g	AgCl	化審法 (1)-4	7783-90-6
酸化アルミニウム	3.5g	Al ₂ O ₃	化審法 (1)-23	1344-28-1

GHS 分類に寄与する不純物 なし
 及び安定化添加物
 危険有害成分 酸化アルミニウム

4 応急措置

一般的な措置

事故が起きた時、あるいは気分が悪い場合、直ちに医師の診察を受ける(できればラベルを見せる)。

吸入した場合

吸入による事故の場合は負傷者を新鮮な空気のある場所に移し、休息させる。
 呼吸が弱かったり止まっている場合、衣類をゆるめ呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。

皮膚に付着した場合

汚染された衣類すべてを直ちに脱ぐ。
 皮膚に触れたら、直ちに多量の水で洗う。

眼に入った場合

直ちに多量の水で洗い流し医師の診察を受ける。

飲み込んだ場合

直ちに医師の診察を受け、医師にその容器又はラベルを見せる。
 水でよく口の中を洗わせる。意識がある場合、水をコップ 1-2 杯飲ませた上で、指をのどに差し込んで吐き出させる。

応急措置をする者の保護

救助者はゴム手袋と密閉ゴーグルなどの保護具を着用する。

医師に対する特別注意事項

(酸化アルミニウム)[ACGIH 2004] 肺:刺激性

5 火災時の措置

消火剤

火災の場合は噴霧水、泡/耐アルコール泡、粉末、二酸化炭素、乾燥砂を使用する。

周囲の状況に適した消火剤を使用する。

使ってはならない消火剤

特になし

火災時の特定危険有害性

燃焼の際に生成する有毒な煙、蒸気、又はガス: 銀酸化物、塩素/塩化水素

特定の消火の方法	速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合には、容器及び周囲に散水して冷却する。 消火作業は、風上から行う。初期の火災には、粉末、二酸化炭素、乾燥砂などを用いる。 大規模火災には、泡消火剤などを用いて空気を遮断することが有効である。
消火を行う者の保護	消火作業従事者は、適切な保護具を着用する。
6 漏出時の措置	
人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置	関係者以外の立ち入りを禁止する。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項	漏出した製品が、河川などに排出され、環境へ影響を起こさないよう注意する。
回収、除去	掃き集めて、容器に回収する。 粉じんが発生しないようにする。 危険でなければ漏出源を遮断し、漏れを止める。
7 取扱い及び保管上の注意	
取扱い	
技術的対策	(取扱者の暴露防止) 『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。
局所排気装置・全体換気	『8. 暴露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体排気を行う。
注意事項	みだりにエアロゾル、粉じんが発生しないように取り扱う。
安全取扱い注意事項	容器に過度の衝撃を加える、転倒させる、落下させる、又は引きずるなどの粗暴な扱いをしない。
保管	
技術的対策	保管場所には危険物を貯蔵し、又は取扱うために必要な採光、照明及び換気の設備を設ける。
適切な保管条件	直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。
混触禁止物質	『10. 安定性及び反応性』を参照。
保管条件	
(適切な保管条件)	直射日光を避け、密閉して冷暗所に保管する。
(避けるべき保管条件)	『10. 安定性及び反応性』を参照。
安全な容器包装材料	ガラス、ポリプロピレン等
8 暴露防止及び保護措置	
設備対策	屋内作業場所での使用の場合は発生源の密閉化又は局所排気装置を設置する。取扱い場所の近くに安全シャワー、手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明確に表示する。
管理濃度	(酸化アルミニウムとして) 2.9 mg/m ³
許容濃度(暴露限界値)	
酸化アルミニウム	
日本産業衛生学会(2011)	(第1種粉じん) 総粉じん 2 mg/m ³ 吸入性粉じん 0.5 mg/m ³

ACGIH 2004	TWA: 10 mg/m ³ (E)
塩化銀	
日本産業衛生学会(2011)	(Agとして)0.01 mg/m ³
ACGIH 2004	未設定

保護具

呼吸器の保護具	空気呼吸器(SCBA)を着用する。 有害粒子用 P2 フィルター付マスク 防じんマスク
手の保護具	状況に応じて、ゴム製などの不浸透性の手袋を着用する。
眼の保護具	保護眼鏡又は安全ゴーグルを使用する。
皮膚及び身体の保護具	状況に応じて、ゴム製の前掛け、長靴、保護衣などの不浸透性の保護具を接触を避けるために着用する。

9 物理的及び化学的性質

物理的状態	白～うすい灰色の粉末
臭い	無臭
pH	アルカリ性
融点・凝固点	データなし
沸点	データなし
引火点	データなし
発火点	データなし
燃焼又は爆発範囲	データなし
蒸気圧	データなし
蒸気密度(空気=1)	データなし
比重(密度)	データなし
溶解性	データなし
オクタノール／水分配係数	データなし
分解温度	データなし
粘度	データなし

10 安定性及び反応性

安定性	光によって灰紫黒色に変わる。(塩化銀)
危険有害性反応可能性	データなし
避けるべき条件	日光、熱、湿気
混触危険物質	データなし
危険有害性のある分解生成物(一酸化炭素、二酸化炭素及び水を除く)	銀酸化物、塩素／塩化水素

11 有害性情報

製品としてのデータはない。参考として酸化アルミニウム、塩化銀の情報を記載する。

成分の有害性情報 <酸化アルミニウム>

急性毒性

経口

データがなく分類できない。

経皮	データがなく分類できない。
吸入(ガス)	GHS 定義による固体。
吸入(蒸気)	GHS 定義による固体。
吸入(粉じん、ミスト)	吸入すると呼吸器への刺激や体内へ蓄積される可能性があるため、区分 5 とした。
皮膚腐食性・刺激性	データがなく分類できない。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼に入った場合、眼球等を傷つけるおそれがあるため、区分 2B とした。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	いずれもデータがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器・全身毒性 -単回暴露	上気道刺激性(ICSC(2000))の記載より区分 3(気道刺激性)に分類した。
特定標的臓器・全身毒性 -反復暴露	酸化アルミニウムの職業暴露により、肺に腺維症が認められた(EHC(1997))との記載より区分 1 に分類した。
吸引性呼吸器有害性	データがなく分類できない。

成分の有害性情報 <塩化銀>

(この物質の、ヒトの健康への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)

急性毒性	粉じんは眼及び気道に機械的刺激を引き起こすことがある。
皮膚腐食性・刺激性	皮膚を刺激することがある。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	眼を刺激することがある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性	(呼吸器感作性)データなし。 (皮膚感作性)データなし。
生殖細胞変異原性	データなし。
発がん性	データなし。
生殖毒性	データなし。
特定標的臓器・全身毒性 -単回暴露	データなし。
特定標的臓器・全身毒性 -反復暴露	データなし。
吸引性呼吸器有害性	データなし。

12 環境影響情報

製品としてのデータはない。参考として酸化アルミニウム、塩化銀の情報を記載する。

成分の有害性情報 <酸化アルミニウム>

水生環境急性有害性	データなし。
水生環境慢性有害性	データなし。

成分の有害性情報 <塩化銀>

(この物質の、自然環境への影響に関するデータが不十分なので、最大の注意を払う必要がある。)

移動性	データなし。
残留性・分解性	データなし。
生態蓄積性	データなし。
生態毒性	データなし。

13 廃棄上の注意

内容物や容器は都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に廃棄を委託する。

14 輸送上の注意

国際規制

国連分類(Class or Div.) 分類基準に該当しない

使用者が構内若しくは構外の輸送若しくは輸送手段に関連して知る必要がある、又は従う必要がある特別の安全対策

運搬に際しては直射日光を避け、容器の漏れのないことを確かめ、落下、転倒、損傷のないように積み込み、荷崩れ防止を確実にを行う。

15 適用法令(酢酸として)

毒物及び劇物取締法	該当しない
労働安全衛生法	法第57条の2、施行令第18条の2別表第9 名称等を通知すべき危険物及び有害物 粉じん障害防止規則第2条別表粉じん作業
化学物質管理促進法	該当しない
消防法	該当しない

16 その他の情報

引用文献

製品安全データシート GHS-31008-1 塩化銀(ナカライテスク株式会社)
製品安全データシート GA-301-04 アルミナセメント(株式会社ニッカトー)

記載内容の問い合わせ先

担当部門	品質保証部
電話番号	075-691-4125
FAX 番号	075-691-9536

※ 記載された内容は、一般的に入手可能な情報やメーカー所有の知見によるものですが、すべての資料及び文献を調査したものではなく、含有量、物理化学的性質、危険有害性などに関しては、いかなる保証をなすものではありません。従って、ここに記載した製品の取扱い又は保管時における事故に対して責任を保証するものではありません。又、新しい知見によって改定されることがあります。

※ 記載された注意事項は通常取扱いを対象としたものですので、特殊な取扱いの場合には、十分な安全対策を実施の上、ご利用ください。

以上